

反転授業入門

オンライン学習と対面授業を組み合わせた反転授業は、2000年代後半から始まり、近年急速に教育関係間で注目が集まっています。教室外と教室内の活動を連続性のあるものとして、どのようにデザインすれば良いのでしょうか。本研修では、反転授業に関わる理論や具体的な方法を知り、日本語教育の現場で実践するための教室活動のデザインについて考えてみたいと思います。*本研修では動画作成はいたしません。

日時：2014年11月2日（日） 13時～17時

会場：東京大学 本郷キャンパス 工学部2号館
（東京都文京区本郷7-3-1）

講師：向後 千春 氏（早稲田大学 人間科学学術院 教授）

コーディネーター：倉本文子・古市由美子・根津誠（教師研修委員）

対象：日本語教育経験者で、反転授業の実践をしてみたい方。
事前に指定された課題ができる方。

定員：40名（応募者多数の場合、日本語教育学会会員を優先します。）

内容：予定のため変更することがあります。

13:00-15:00	講義ビデオに対するQ&A グループワーク①「反転授業の実践に向けて」
15:00-17:00	グループワーク②「日本語教育における反転授業のデザイン」 振り返りとまとめ

受講料：一般 3,000 円 / 会員 2,000 円 / 大学院生 1,500 円

事前課題：後日連絡する講義ビデオ（約 10 分）を事前に見てくること。

参考文献：

- 1) 向後千春・富永敦子・石川奈保子（2012）「大学におけるeラーニングとグループワークを組み合わせたブレンド型授業の設計と実践」『日本教育工学会論文誌』Vol. 36, No. 3, Pp. 281-290
[http://kogolab.chillout.jp/paper/2012_Kogo-Tominaga-Ishikawa_JSET36\(3\).pdf](http://kogolab.chillout.jp/paper/2012_Kogo-Tominaga-Ishikawa_JSET36(3).pdf)
- 2) 富永敦子・向後千春（2014）「eラーニングに関する実践的研究の進展と課題」『教育心理学年報』Vol. 53, Pp. 156-165

～講師プロフィール～ 向後千春氏（早稲田大学 人間科学学術院 教授）



【専門分野】教育工学／教育心理学（特にeラーニング，成人教育，インストラクショナルデザイン）／アドラー心理学
大学教育，企業内教育，成人教育を中心的なフィールドとして，実務能力のあるインストラクショナルデザイナーを養成する。

【参考ビデオ】 <http://youtu.be/33kTUuGAL5o>

【向後千春研究室ホームページ】 <http://kogolab.wordpress.com/>

10/8
締切

◆申込方法◆

参加申込書を学会ホームページ
<http://www.nkg.or.jp/menu-kenshu.htm> からダウンロードして，メール添付または FAX でお送りください。メール応募の場合，題名は「反転授業入門研修申込」としてください。申込書が到着次第，折り返しメールで受講料の振込先等をご連絡します。締切は10月8日（水）。定員になり次第，締切日前でも募集を終了します。

<注意事項>

申込書を送っても学会からの返信メールが到着しない場合は書類未着の可能性がございますので，必ずご自身の責任においてご確認ください。事務局対応は平日の9～18時です。週末や夜間のメールへの対応は翌日以降となります。なお，本募集に関して集めた個人情報は本研修の実施以外の目的には使用いたしません。また，応募書類は返却いたしません。

◆申込および問合せ先◆

公益社団法人 日本語教育学会
教師研修委員会事務局
〒101-0065 東京都千代田区
西神田 2-4-1 東方学会新館 2F
TEL：03-3262-4291
FAX：03-5216-7552
E-mail：kyoshikenshu@nkg.or.jp

【日本語教育学会教師研修委員会宛】メール kyoshikenshu@nkg.or.jp FAX 03-5216-7552

「反転授業入門」(2014年11月2日)

参加申込書

氏名	(漢字) (ローマ字)
所属・職名	所属： 職名：
会員種別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 日本語教育学会会員〔No. 〕 <input type="checkbox"/> 大学院生
住所	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場
電話	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> 携帯
FAX	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> なし
E-mail 携帯アドレス不可	※連絡の基本はEメールとなりますので、間違いがないかご確認ください。
日本語教育経験年数	年
<p>1. 反転授業を実践している、または実践してみたいコースについて、一例をお書きください。 該当するものに☑をつけてください。</p> <p>0) 実践：<input type="checkbox"/>すでに実践している <input type="checkbox"/>実践してみたい</p> <p>1) 機関：<input type="checkbox"/>大学 <input type="checkbox"/>日本語学校 <input type="checkbox"/>企業 <input type="checkbox"/>高等学校 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>2) 期間： 3) 対象者： 4) レベル： 5) 授業科目名またはコース名：</p>	
<p>2. 今回の研修「反転授業入門」で何をgetたいですか。簡単にお書きください。</p>	
<p>※文字数等は問いませんが応募用紙全体がA4、1枚に収まるようお願いいたします。</p>	
<p>3. この研修コースを何で知りましたか。該当するものに☑をつけてください。</p> <p><input type="checkbox"/> (1) 学会からのメール <input type="checkbox"/> (2) その他からのメール（ ） <input type="checkbox"/> (3) 学会ホームページ <input type="checkbox"/> (4) 学会からのチラシ <input type="checkbox"/> (5) 学会誌『日本語教育』 <input type="checkbox"/> (6) 友人・知人 <input type="checkbox"/> (7) 大学・日本語学校等機関（ ） <input type="checkbox"/> (8) その他（ ）</p>	
<p>4. 当日研修の様子を記録・広報等の使用目的で写真撮影をいたします。 該当するものに☑をつけてください。 → 研修当日の撮影を <input type="checkbox"/>承諾する <input type="checkbox"/>承諾しない</p>	
<p>* 今回の反転授業の研修を踏まえて、「アトリエ（参加者同士の自主的な勉強会）」を企画しませんか。 興味のある方は、どのように進めるか当日検討しますので研修終了後に会場に残ってください。</p>	

以上